

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成30年1月11日(2018.1.11)

【公開番号】特開2017-195803(P2017-195803A)

【公開日】平成29年11月2日(2017.11.2)

【年通号数】公開・登録公報2017-042

【出願番号】特願2016-88283(P2016-88283)

【国際特許分類】

C 1 2 Q 1/68 (2018.01)

C 1 2 N 15/115 (2010.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

G 0 1 N 33/50 (2006.01)

G 0 1 N 33/68 (2006.01)

G 0 1 N 33/48 (2006.01)

【 F I 】

C 1 2 Q 1/68 Z N A A

C 1 2 N 15/00 H

C 1 2 N 15/00 A

G 0 1 N 33/50 P

G 0 1 N 33/68

G 0 1 N 33/48 M

【手続補正書】

【提出日】平成29年11月20日(2017.11.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

K K - L C - 1 に対する特異的結合物質、K K - L C - 1 遺伝子の c D N A を増幅するためのプライマーセット又は K K - L C - 1 遺伝子の m R N A に特異的にハイブリダイズするプローブ、を備え、胃下部領域に由来する胃組織試料の K K - L C - 1 の発現の検出に用いられる、早期胃癌検出キット。

【請求項 2】

前記胃組織試料が幽門腺に由来するものである、請求項 1 に記載の早期胃癌検出キット

。

【請求項 3】

K K - L C - 1 に対する特異的結合物質を備え、前記特異的結合物質が蛍光色素又はボジトロン核種で標識されている、請求項 1 又は 2 に記載の早期胃癌検出キット。

【請求項 4】

前記特異的結合物質が蛍光色素で標識されており、内視鏡による検出用である、請求項 3 に記載の早期胃癌検出キット。

【請求項 5】

ヘリコバクター・ピロリ感染検出薬を更に備える、請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の早期胃癌検出キット。

【請求項 6】

胃組織試料における K K - L C - 1 の発現を検出する工程を備え、前記胃組織試料が胃

下部領域に由来するものである、早期胃癌細胞の検出方法。

【請求項 7】

前記胃組織試料が幽門腺に由来するものである、請求項6に記載の早期胃癌細胞の検出方法。

【請求項 8】

前記胃組織試料におけるヘリコバクター・ピロリ感染を検出する工程を更に備える、請求項6 又は 7に記載の早期胃癌細胞の検出方法。